

「釧路湿原自然再生協議会」

第16回 再生普及小委員会

平成22年11月30日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

釧路湿原自然再生協議会
— 第16回 再生普及小委員会 —

日時：平成22年11月30日（火）13:30～15:30

場所：釧路地方合同庁舎5階 共用第一会議室

議 事 次 第

1. 開 会
2. 議 事
 - 1) 再生普及小委員会の経過報告
 - 2) 再生普及行動計画ワーキンググループ経過報告
 - 3) 環境教育ワーキンググループ経過報告
 - 4) 今後の予定
3. その他
4. 閉 会

配 布 資 料

- ・ 議事次第
- ・ 第16回再生普及小委員会 出席者名簿
- ・ 再生普及小委員会 委員名簿
- ・ 第16回再生普及小委員会資料
- ・ 第15回再生普及小委員会ニュースレター
- ・ 意見・要望アンケート用紙

「釧路湿原自然再生協議会」

第 16 回 再生普及小委員会

資 料

平成 2 2 年 1 1 月 3 0 日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

**釧路湿原自然再生協議会
再生普及小委員会 委員名簿**

計: 52名

■個人(15名)

(敬称略、五十音順)

No.	氏名	所属
1	金子 正美	酪農学園大学 環境システム学部 地域環境学科 教授
2	君塚 孝一	
3	木村 勲	
4	小松 繁樹	
5	清水 信彦	
6	白谷 和明	平和システム研究所 調査研究員
7	新庄 久志	釧路国際ウエットランドセンター主任技術員(環境ファシリテーター)
8	高嶋 八千代	北海道教育大学釧路校 非常勤講師
9	高橋 昭	
10	高橋 忠一	
11	橋 利器	トラウトフォーラム会員
12	鶴間 秀典	
13	蛭田 眞一	北海道教育大学釧路校 副学長
14	松本文雄	
15	矢吹 哲夫	酪農学園大学 環境システム学部 生命環境学科 教授

■団体(23名)

(敬称略、五十音順)

No.	団体/機関名	代表者名
1	阿寒国際ツルセンター(グルス)	主任 太田 幸
2	釧路観光連盟	会長 佐藤 悦夫
3	釧路国際ウエットランドセンター	理事長 蝦名 大也
4	釧路自然保護協会	会長 神田 房行
5	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	代表幹事 鈴木 久枝
6	釧路湿原国立公園連絡協議会	会長 蝦名 大也
7	釧路シャケの会	会長 林田 恒夫
8	釧路武佐の森の会	会長 大西 英一
9	こどもエコクラブくしろ	サポーター代表 佐々木 誠治
10	財団法人日本生態系協会	会長 池谷 奉文
11	財団法人日本鳥類保護連盟釧路支部	支部長 小柳 慶吾
12	財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	チーフレンジャー 有田 茂生
13	財団法人北海道環境財団	理事長 辻井 達一
14	さっぽろ自然調査館	代表 渡辺 修
15	塘路ネイチャーセンター	センター長 鷺見 祐将
16	特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所	理事長 赤松 里香
17	特定非営利活動法人 くしろ・わっと	理事長 小林 友幸
18	特定非営利活動法人 生活学舎のんき	理事 佐藤 吉人
19	特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ	理事長 百瀬 邦和
20	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	理事長 黒沢 信道
21	北海道標茶高等学校	校長 西田 丈夫
22	北海道プロフェッショナルフィッシングガイド協会	会長 テディ齋藤
23	ボランティアネットワークチャレンジ隊	代表 佐竹 直子

■オブザーバー(4団体)

(敬称略)

No.	団体/機関名	代表者名
1	釧路商工会議所	会頭 山本 壽福
2	釧路町商工会	会長 中嶋 嘉昭
3	弟子屈町商工会	会長 桐木 茂雄
4	鶴居村商工会	会長 大津 泰則

■関係行政機関(10機関)

(敬称略)

No.	団体/機関名	代表者名
1	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	部長 安田 修
2	環境省 釧路自然環境事務所	所長 野口 明史
3	林野庁 北海道森林管理局	局長 山崎 信介
4	北海道 釧路総合振興局	局長 柴田 達夫
5	北海道教育庁 釧路教育局	局長 大山 節夫
6	釧路市	市長 蝦名 大也
7	釧路町	町長 佐藤 廣高
8	標茶町	町長 池田 裕二
9	弟子屈町	町長 徳永 哲雄
10	鶴居村	村長 日野浦 正志

目 次

【再生普及小委員会の経過報告】

資料 1-1	再生普及行動計画ワーキンググループの取組み進捗状況	・・・・・・・・	1
資料 1-2	知名度調査アンケート 結果	・・・・・・・・	8
資料 2-1	「ワンダグリンド・プロジェクト 2010」中間報告（概要）	・・・・・・・・	13
資料 2-2	「ワンダグリンド・プロジェクト 2010」報告フォーマット	・・・・・・・・	14
資料 2-3	「ワンダグリンド・プロジェクト 2010」進捗状況（一覧）	・・・・・・・・	16
資料 3-1	「ワンダグリンド・プロジェクト 2011」募集概要(案)	・・・・・・・・	18
資料 3-2	「ワンダグリンド・プロジェクト 2011」応募フォーマット	・・・・・・・・	19
資料 4	現在の情報発信（一覧）	・・・・・・・・	20
資料 5	環境教育ワーキンググループの今年度の活動について	・・・・・・・・	21
資料 6	再生普及小委員会の予定（案）	・・・・・・・・	23

再生普及行動計画WGの取組み進捗状況

■ フィールドワークショップの実施

第5回フィールドワークショップ「体感！旧川復元蛇行現場～陸と川から～」

- ・実施日時：2010年8月29日（日）8時半～13時
- ・実施場所：茅沼地区旧川復元事業地～塘路湖畔
- ・参加者数：ワンダグリンダ応募者7名（うち普及小委員会・WGメンバー4名）
- ・実施内容：茅沼地区旧川復元事業地の蛇行箇所見学（右岸側からの見学とカヌー）
- ・講師：新庄久志氏（釧路湿原自然再生協議会会長、本WG座長）
- ・協力：神田房行旧川復元小委員会委員長、釧路開発建設部、レイクサイドとうろ
- ・アンケート回答より（抜粋）：今日のように個人では行動するのが難しい現場を視察できる内容があれば（また）お願いします/釧路湿原が再生に向かい進んでいることが体験できよかったです/リファレンスサイトが健在なのがうれしかったです/初めに勉強会、中間レジャー、後半スポーツと多岐にわたり楽しかった/直線河川（の一部）～復元河川～自然河川を連続してみるのができた/専門家の解説を聞きながら河川環境（特に河畔林）をじっくり観察できた



次回のフィールドワークショップは、2月6日（日）を予定しています。

■ 情報発信の拡充

本年度は以下のイベントに参加し、自然再生に関する普及を行った。

くしろエコ・フェア 2010（主催：実行委員会、会場：釧路市こども遊学館）

（主催事業）釧路湿原自然再生パネル展（協力・会場：イトーヨーカドー釧路店）

環がまち釧路フェスタ（主催：釧路市、会場：釧路市国際交流センター）

まなトピア 2010（主催：実行委員会、会場：釧路市生涯学習センター）

（予定）釧路湿原ラムサール条約30周年記念イベント「湿原たからばこ」

■ 第2期釧路湿原自然再生普及行動計画概要版(パンフレット)の作成とパネル作成

パンフレットは 10 月に完成。推進サポーターをはじめ、各公共施設、ワンダグリンダ応募者に配布を行った。今後は再生協議会構成員や普及の機会に配布する予定。次年度には英語版を作成予定。

パネルについては、現在作成中。(年内に完成予定)

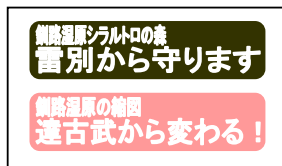
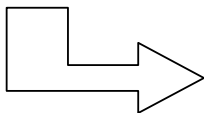
■ 知名度調査アンケートの実施

資料 1-2 参照

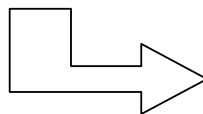
□ 森林再生小委員会の広報

本年度より、自然再生で今なにが行われているかを伝える広報・普及活動を開始した。特に本年度は、森林再生小委員会とそれに伴う実施計画について、森林再生小委員会事務局(環境省釧路自然環境事務所、林野庁釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター)の協力のもと行った。

○ 事業紹介 WEB ページの作成 (予定)



ワーキンググループ
ホームページ上にある
バナーをクリック



○ブログ開設（9月スタート！）



『森林再生の今!』というタイトルで
カテゴリーをイベント情報、委員会関連、
達古武地区、雷別地区に分け
今は一週間に一度程度更新しています。

<http://heco-spc.mo-blog.jp/kushiroforest/>

○標茶町でのパネル展示



9月12日 標茶町産業まつりにて
(主催：標茶町、会場：釧路川標茶緑地公園特設会場)

釧路湿原自然再生を紹介するパネル展
示と湿原ミニチュアモデルを使った体験
コーナーを実施しました。

資料等も配布し多くの方に関心を持っ
てもらいました。

○広報での自然再生と森林再生の紹介

- ・ 広報しべちや 7～10月号にて連載
- ・ 広報釧路町 7～10月号にて連載

知ってる!? 釧路湿原

● 湿原の特徴編

釧路湿原を紹介するコーナーです。身近だけれども知らないこともあるのでは？みなさんの「へー」を引き出します。

釧路湿原にはこれからの季節、たくさんのお客が訪れます。湿原のどんなところがみなさんを引きつけるのでしょうか。今回は釧路湿原の特徴をいくつかを紹介します。

①日本で一番大きな湿原：面積は約18000ヘクタールです。広大な湿原の景観は、もう他では見られない平野部の原自然を残す場所なのです。

②たくさん種類の生物が暮らす湿原：釧路湿原は川や湿地、林などさまざまな環境があり、それぞれの環境にすむ生物が釧路湿原全体で暮らしています。希少な生物も多く、たくさんの方がここで研究を行っています。

③都市に近い湿原：湿原周辺には約23万人の人々が暮らしています。そのすぐそばに大自然を有する湿原があるのは、世界的にも大変珍しいことです。

ほかにも多くの特徴がある釧路湿原。今、全国から注目を集めています。それは「自然再生事業」です。国内では先進事例であり、また、ユニークな取り組みなどは各方面から注目を集めています。

今回は、その自然再生事業をご紹介しますので、どうぞお楽しみに♪



釧路湿原国立公園
釧路湿原国立公園のロゴマークを見たとありますか？

環境省釧路自然環境事務所 ☎0154-3217500

知ってる!? 釧路湿原

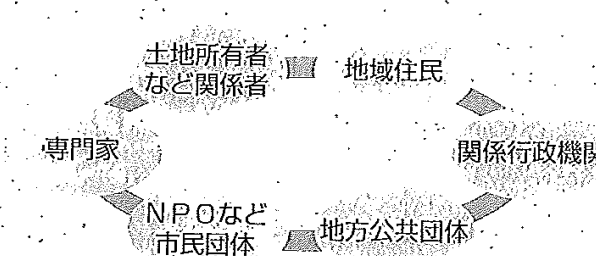
● 自然再生編

現在、雄大な自然を持つ釧路湿原では、さまざまな課題があります。

湿原面積は50年間で2割以上減ったといわれ、現在の湿原は、周辺の山や農地から土砂が流れ込みやすくなったことや地下水の状態が変わったことで、乾燥したり木が増えたり環境に変化が出てきました。

その課題に取り組むために「釧路湿原自然再生事業」が始まり、湿原深部へ土砂が入り込まないようにする事業や人工林を自然林に戻す事業、住民レベルで釧路湿原のことをもっと知ってもらう計画など、多くの事業が行われています。

これらの事業は「自然再生協議会」で検討しており、行政機関だけではなく、多くの住民・専門家・住民活動団体などが参加し、意見を出し合っています。自然再生協議会は全国21カ所ありますが、釧路湿原は規模が大きく、早くから始まった先進事例として各方面から注目を集めています。そして、取り組まれている事業のうち町内では「雷別地区自然再生事業」が行われています。



釧路湿原自然再生協議会は現在124名で構成されています。さまざまな方が参加しており、みんなで自然再生に取り組みます。

環境省釧路自然環境事務所 ☎0154-3217500

知ってる!? 釧路湿原

雷別編

日本の中でも先進事例として各方面から注目を集めている「釧路湿原自然再生事業」。釧路湿原を守るために多くの方々を取り組んでおり、その一つが「雷別地区自然再生事業」です。雷別地区には国有林があり、その一部が気象災害により樹木が枯れ、森の保水機能、土砂流出をくい止める機能（水土保全機能）が低くなっています。その森をできるだけ「自然の森」に戻そうという再生事業が始まりました。

「自然の森」とは、たくさんの種類の木や植物があり、それをエサやすみかとするたくさんの種類の生きものが住む森です。そのため、人の手をかけるよりも、自然が持つ力をできるだけ發揮させて森を再生する方法をとっています。自然に木の芽が出そうなどころは自然にまかせ、木が育ち始めている場所を守ります。また、芽が出にくい場所だけ人の手で植樹します。今、木が枯れた場所はササに覆われ、そこを森林に戻すのは大変なことです。再生事業が始まってまだ数年ですが、雷別は100年後にはさっと立派な森になることでしよう。みなさんも関心を持って森を守る活動に参加してみませんか。次のような取り組みをしていますので、ぜひ雷別の再生現場にお越しください。

●森林ボランティア養成講座

タネを集める「シードトラップ」をしかけます。作業の後は森林セラピー講師の講演があります。

■日時／9月5日(日)、午前8時20分～午後4時

■集合場所／釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

※バスで移動しますので、事前に相談してください。

■定員／20名

■参加費／200円（保険料）

今回は「釧路湿原のこれから」です。お楽しみに。

環境省釧路自然環境事務所 ☎0154-32-7500

知ってる!? 釧路湿原

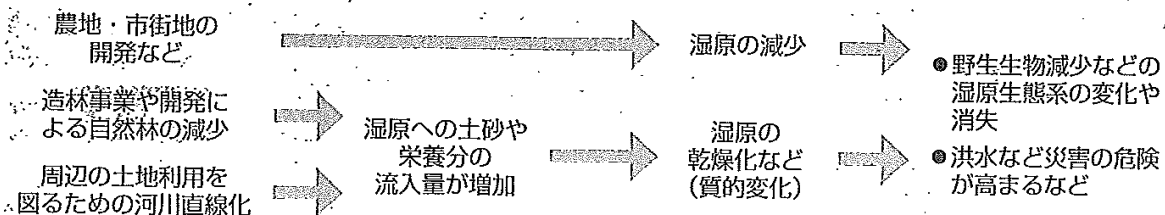
●釧路の未来編

雄大な自然を保つ釧路湿原。そこに忍び寄るさまざまな問題。その対策として今行われている「自然再生事業」。今後の釧路湿原はどのようなのでしょうか。

もし、釧路湿原で起きている問題をそのままにしておいたら下図のようになるかもしれません。

自然再生事業では、現在6つの事業（対策）が行われています。1つの事業だけでは湿原を守ることはできません。いくつもの課題に対していくつもの対策、そして時間をかけなければなりません。しかし、自然再生事業だけでは湿原を守ることができません。湿原周辺に暮らす私たち一人ひとりが、釧路湿原を意識し守ることが大切だと考えています。

私たちが湿原周辺に暮らしている限り、必ず何かし



第1回 知ってる?! 釧路湿原
～湿原の特徴編～

釧路湿原がラムサール条約に登録され30周年を記念して、湿原のことをご紹介するこのコーナー。身近だけれども知らないこともあるのでは？
4回にわたりみなさんの「へ～！」を引き出します。

これからの季節、たくさんの観光客が訪れる釧路湿原。湿原のどんなところがみなさんを引きつけるのでしょうか。今回は釧路湿原の特徴のいくつかをご紹介します。

日本で一番大きな湿原。面積は約18,000ヘクタール。釧路町森林公園の約70倍です。広大な湿原の景観は、もう他では見られない平野部の原自然を残す場所なのです。

たくさんの種類の生物が数多く暮らしています。釧路湿原は川や湿地、林など様々な環境があります。よって、それぞれの環境に住む生物が釧路湿原全体で暮らしていることになります。希少な生物も多く、たくさんの研究者がここで研究を行っています。

都市に近い湿原。湿原周辺には約23万人の人が暮らしています。これだけの規模の都市の近くに、これ程大きな湿原があるのは、世界的にみても大変めずらしいことです。



釧路湿原国立公園

他にも多くの特徴がある釧路湿原ですが、今、全国から注目を集めていることがあります。それは「自然再生事業」。国内では先進事例であり、ユニークな取組みなどは各方面から注目を集めています。
次回は、その自然再生事業をご紹介します。どうぞお楽しみに！
問い合わせ：生活環境課 環境対策係 ☎内線 183

第2回 知ってる?! 釧路湿原
～自然再生編～

釧路湿原がラムサール条約に登録され30周年を記念して、湿原のことをご紹介するこのコーナー。身近だけれども知らないこともあるのでは？
4回にわたりみなさんの「へ～！」を引き出します。
問い合わせ：生活環境課 環境対策係 ☎内線 184

雄大な自然を持つ釧路湿原。今、釧路湿原では様々な問題が起きてきます。宅地や農地をつくったために湿原面積はこの50年で2割以上減ったといわれています。そして残っている湿原も、周辺の山や農地から土砂が流れ込みやすくなったことや、地下水の状態が変わったことで、乾燥したり木が増えたりと、環境に変化が出てきました。

その課題に取り組む「釧路湿原自然再生事業」が2003年から始まりました。湿原深部へ土砂が入り込まないように土砂を捕捉する事業、人工林を自然林に戻そうという事業、市民レベルで釧路湿原のことをもっと知ってもらおうという計画など、多くの事業が行われています。これらの事業は「自然再生協議会」という集まりで検討しています。この集りには行政機関だけでなく、多くの市民、専門家、市民活動団体などが参加し、意見を述べ合い、従来の公共事業とは随分と違う方法で進められています。自然再生協議会は全国21箇所がありますが、釧路湿原は規模が大きく、どこよりも早くから始まった先進事例として各方面から注目を集めています。そして、取り組まれている事業のうち1つは「達古武地区自然再生事業」であり、釧路町内で行われています。

次回は達古武でなにが行われているかをご紹介します。お楽しみに！

みんなをつなぐ湿原発見隊
～湿原を守る森づくりと自然工作体験～

8/22日 時間/9:30～16:00
場所/達古武オートキャンプ場

対象/小学3年～高校3年と保護者
定員/親子10組20人[費用]無料
持ち物/水筒、長靴、虫よけ、筆記用具
問合せ/申込/達古武オートキャンプ場 (☎40-4448)



釧路湿原国立公園

釧路町

9月号

第3回 知ってる?! 釧路湿原

～達古武編～

釧路湿原がラムサール条約に登録され30周年を記念して、湿原のことをご紹介するこのコーナー。身近だけれども知らないこともあるのでは？4回にわたりみなさんの「へ～！」を引き出します。

問い合わせ：生活環境課 環境対策係 ☎内線 184

「はつくりと生き物しるべ～自然再生を考える町民体験会～」
森を歩いて広葉樹の葉やタネを集めよう!

10/16(土) 時間/9:00～15:00

集合場所/達古武オートキャンプ場

(定員) 20人 (小学生は保護者同伴) (費用) 300円 (保険料として)

(申込) FAXにて、お名前、ご住所、連絡先をご連絡ください。

FAX番号 011-892-5318 (さっぽろ自然調査館)

(問合せ) 環境省釧路自然環境事務所 (☎32-7500)

みなさんの身近などで行われている「釧路湿原自然再生事業」。

これから釧路湿原をどう守っていくのか。次回は少し未来のことをお話したいと思います。お楽しみに!

日本の中でも先進事例として各方面から注目を集めている「釧路湿原自然再生事業」。釧路湿原を守るために多くの人々により行われていますが、そのうちのひとつが「達古武地域自然再生事業」です。達古武地域には森、農地、湿原、湖沼といった様々な環境が揃っており、森林の減少や湖沼への土砂の流入、水草の変化といった課題もあって、まさに釧路湿原の縮図です。この達古武での自然再生に取り組んでいるのが、環境省釧路自然環境事務所です。取り組んでいる内容が次のようなことです。

①自然林再生…カラマツばかりになってしまった林を広葉樹林にするための実験を行っています。森林については100ヘクタールほどの小さな場所で取り組んでいますが、この釧路町の森で得られたデータは将来公開し、北海道各地で自然林再生に役立てる予定です。

②土砂流出防止対策…これ以上土砂が湖沼に流れ込まないように防止しています。

③水草の修復試験…湖周辺の環境変化に関連して水草にも変化が起きています。その水草を修復する試験を行っています。

さまざまな取り組みが行われている達古武地域。実際にどんなことをしているのか、どんな生きもの達を調べているのかを参加・体験できるイベントが毎年行われています。どうやって自然を取り戻そうとしているのか、本当に取り戻せるのか、生きものたちを観察しながら考えることも自然再生の一つです。この体験会は今年も開催されますので、ぜひご参加ください!

釧路湿原国立公園

10月号

第4回 知ってる?! 釧路湿原

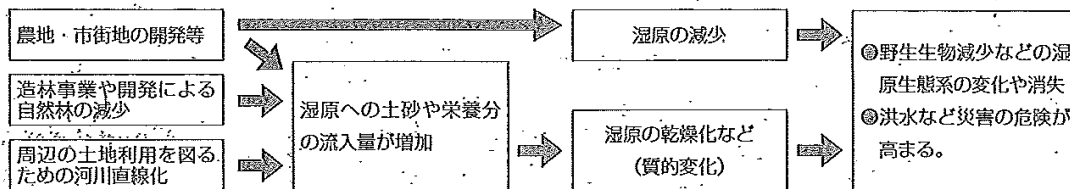
～釧路湿原の未来編～

釧路湿原がラムサール条約に登録され30周年を記念して、湿原のことをご紹介するこのコーナー。身近だけれども知らないこともあるのでは？4回にわたりみなさんの「へ～！」を引き出します。

問い合わせ：生活環境課 環境対策係 ☎内線 184

雄大な自然を保つ釧路湿原。そこに忍び寄る様々な問題。その対策として今行われている「自然再生事業」。これから釧路湿原はどうなるでしょうか。

もし、釧路湿原で起きている問題をそのままにしておくと、図のようになるかもしれません。



自然再生協議会ではこんな目標を掲げています。

「この地域に本来生息している生き物が全滅することなく生きていける環境、そして私たちの暮らしに豊かな恵みをもたらす水と緑の大地を取り戻すこと」

これを実現するには50年、100年と長い年月が必要でしょう。ひょっとしたらその後も、湿原は新たな課題を抱えているかもしれません。でも、100年後もその先も、「守るべき釧路湿原」が在り、子や孫たちが現代と同じような、いえ、それ以上の、湿原の恵みを受けていられることを願っています。

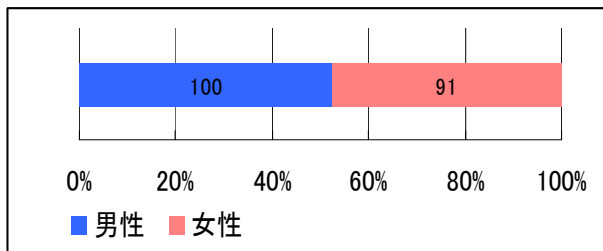


釧路湿原国立公園

知名度調査アンケート 結果

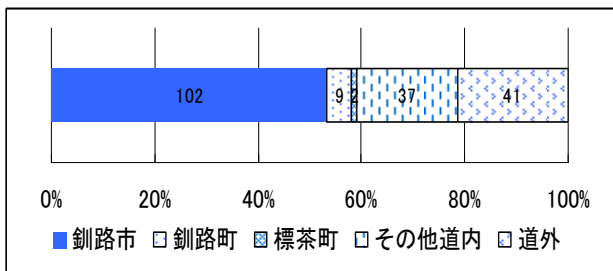
実施日と調査場所	9月5日(日) 10:00~12:30 温根内ビジターセンター 13:00~15:00 ジャスコ鉤路店 9月6日(月) 10:30~12:00 JR 鉤路駅前
調査件数	JR 鉤路駅前 54 件、ジャスコ鉤路店 75 件、温根内 VC 62 件 計 191 件
実施対象	10~70 代の男女
調査員	4 名

● アンケート対象者について
性別



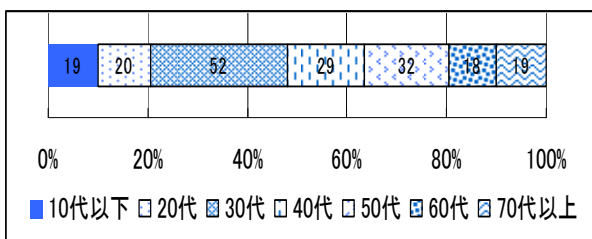
	JR 鉤路駅	ジャスコ鉤路店	温根内 VC
男性	30 件	35 件	35 件
女性	24 件	40 件	27 件
合計	54 件	75 件	62 件

地域



	JR 鉤路駅	ジャスコ鉤路店	温根内 VC
鉤路市	30 件	47 件	25 件
鉤路町	4 件	4 件	1 件
標茶町	0 件	2 件	0 件
その他道内	10 件	22 件	5 件
道外	10 件	0 件	31 件
合計	54 件	75 件	62 件

年齢



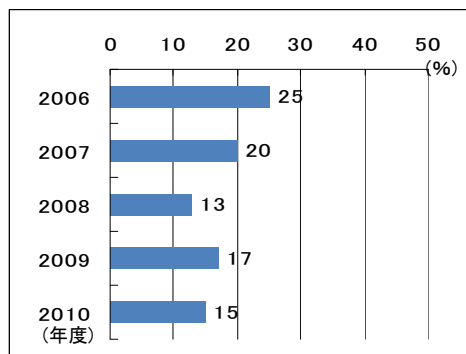
	JR 鉤路駅	ジャスコ鉤路店	温根内 VC
10代以下	7 件	13 件	0 件
20代	1 件	13 件	6 件
30代	7 件	23 件	22 件
40代	7 件	11 件	11 件
50代	11 件	9 件	12 件
60代	8 件	2 件	8 件
70代以上	13 件	4 件	2 件
合計	54 件	75 件	62 件

● 知名度調査アンケート結果(全体)

<参考>

調査件数	2006年度	130件
	2007年度	142件
	2008年度	150件
	2009年度	226件
	2010年度	191件

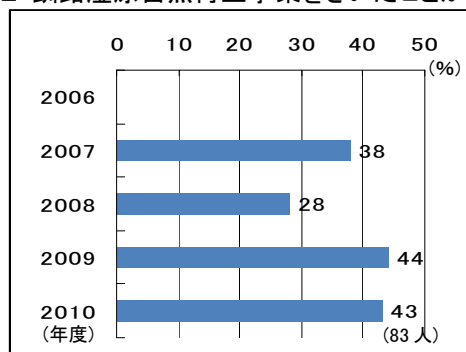
1 釧路湿原自然再生協議会を知っていますか



	JR 釧路駅	ジャスコ釧路店	温根内 VC	
知ってる	9件	6件	11件	
知らない	45件	66件	51件	
合計	54件	75件	62件	(計 191)

感想：再生事業や実施している官公庁の名称は知っていても、協議会という名称は知らない人が多い。

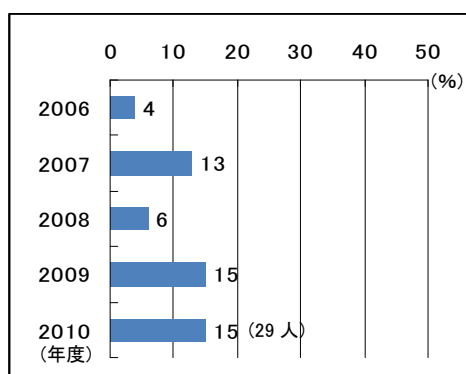
2 釧路湿原自然再生事業をきいたことがありますか



	JR 釧路駅	ジャスコ釧路店	温根内 VC	
はい	29件	28件	26件	
いいえ	25件	47件	36件	
合計	54件	75件	62件	(計 191)

感想：旧川復元事業の例を知っている人が多い。

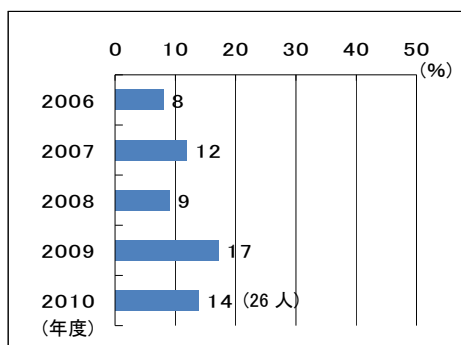
3 釧路湿原自然再生全体構想をきいたことがありますか



	JR 釧路駅	ジャスコ釧路店	温根内 VC	
はい	11件	11件	7件	
いいえ	43件	64件	55件	
合計	54件	75件	62件	(計 191)

感想：地域を問わず（道内外も）、年齢についても顕著な傾向はつかめなかった。個人の関心の有無に関係しているのか？

4 ワンダグリンダ・プロジェクトをきいたことがありますか

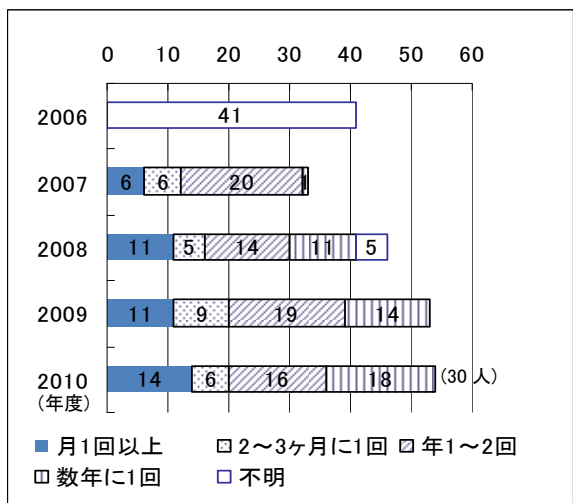


	JR 釧路駅	ジャスコ釧路店	温根内 VC	
はい	7 件	8 件	11 件	
いいえ	47 件	67 件	51 件	
合計	54 件	75 件	62 件	(計 191)

合計「はい」のうち

- ・ 大まかでも内容を知っている：15 人
- ・ どんな内容のイベントならば参加したいか：自然保護に繋がること/自然に貢献できて楽しめること/ごみ拾い/冬のエコツアー/時間があれば/蛇行箇所の見学

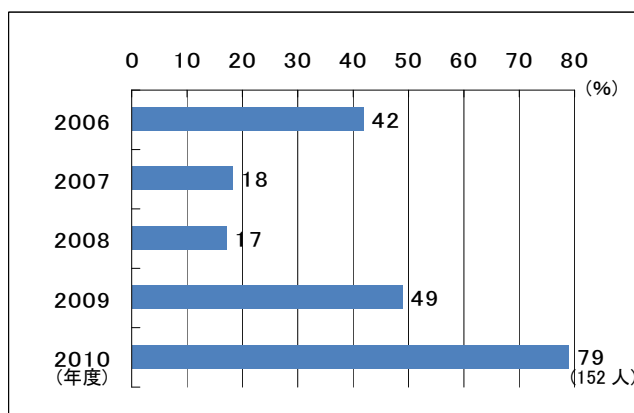
5 釧路湿原に最近出かけていますか？その頻度は



	JR 釧路駅	ジャスコ釧路店	温根内 VC
月1回以上	2 件	8 件	17 件
2~3ヶ月に1回	4 件	4 件	3 件
年1~2回	13 件	9 件	8 件
数年に1回	10 件	23 件	2 件
初めて	3 件	0 件	31 件
出かけない	22 件	31 件	1 件
合計	54 件	75 件	62 件

出かけない理由：近くに住んでいるので/魅力を感じない/関心がない（好きではない）/忙しい/何をしたいかわからない/ローカル線の旅なのでカットしている

6 釧路湿原や身の周りの自然環境を保全するために何か行っていますか



どんなことをしていますか：
 ごみを捨てない・持ち帰る/ごみ減量/食べ残しをしない/ごみ分別/携帯灰皿持参/清掃ボランティア/イベントに参加/エコドライブ/アイドリリングストップ/車利用を控える/洗剤利用を控える/無洗米使用/家庭排水への配慮/エアコンの調整/募金・寄付

<参考> 普段の暮らしの中で、環境保全を意識して行っていることを教えてください(複数回答)

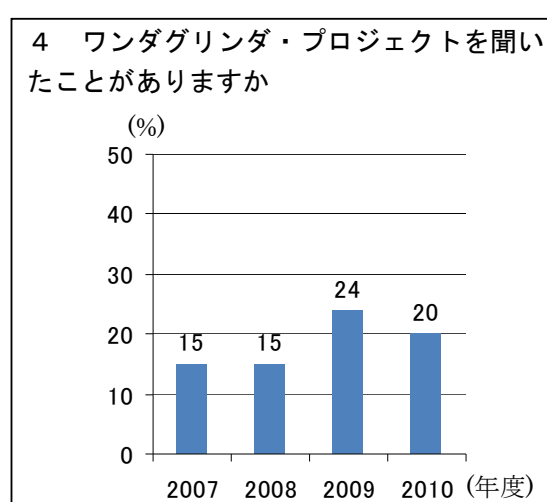
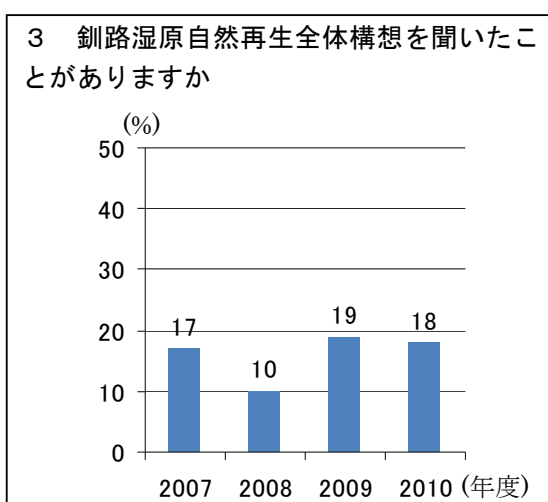
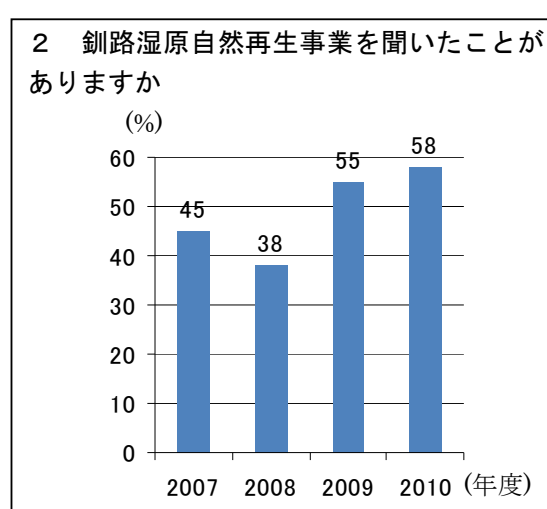
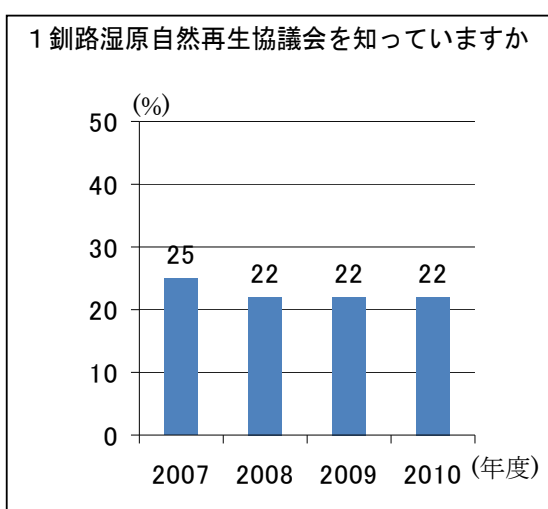
	全体	JR 釧路駅	ジャスコ釧路店	温根内 VC
節電	61%	59%	59%	66%
節水	52%	48%	57%	48%
エコバック持参	70%	70%	77%	63%
資源回収	59%	52%	61%	63%
積極的なリサイクル/ リユース	42%	39%	49%	39%
ゴミ拾い	26%	35%	29%	15%

その他：アイドリングストップ/生ゴミ利用

● 釧路湿原周辺の住民の回答結果

(2007年度～2010年度：釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村)

(調査件数 2007年度 96件、2008年度 89件、2009年度 147件、2010年度 113件)



「ワンダグリンド・プロジェクト2010」中間報告(概要)

1 取組み者数について

2010年度当初は、40団体(個人)69取組み(協議会含)でスタートし、前回の小委員会後新たに4団体6取組みが加わりました。その結果、2010年11月現在の取組み者数は以下のとおりです。

- (1) 総数：44団体(個人)75取組み(協議会含)
- (2) 前回から追加応募された団体、取組み

【新規】

- ・ 釧路ウォーターアートプロジェクト：市民参加型の環境アートで水の大切さを発信します
- ・ こどもエコクラブくしろ：釧路湿原におけるマルハナバチの観察調査を実施します

【継続】

- ・ 北海道阿寒高等学校：1学年「地域巡検」として釧路湿原を学びます
- ・ リンク・リング：野生生物へのエサやりの是非の説明をして、人と動物・自然のかかわりについて考える機会を持ってもらいます。

【追加取組み(団体としては既に応募済)】

- ・ 環境省釧路自然環境事務所：釧路湿原ラムサール条約登録30周年を記念して、流域市町村で自然体験イベントを実施します
- ・ 沢田建設株式会社：ウチダザリガニ防除の実施

2 ワンダグリンド・プロジェクト2010進捗状況について

- ・ 取組みが既に終了した 28件
- ・ これから予定している 7件
- ・ 実施の予定が立っていない 2件
- ・ 活動中 38件(うち5件は協議会)

3 「ワンダグリンド・プロジェクト2010」の報告について

実施者への報告依頼は、報告フォーマット(資料2-2参照)を使用し、年明けから始める予定です。

ワンダグリンダプロジェクト 2010

釧路湿原自然再生普及行動計画 2010年度具体的取組み

<報告記入例>

団体(個人)名	●●●
団体(自己)PR	10人ほどの有志が集った会です。年数回、屋外での活動を楽しんでやっています。 会員は随時募集中です。 [ホームページ] http://www.....
取組み概要	釧路湿原周辺でゴミ拾い活動を実施します
活動の目的・ねらい	活動の後のビールのおいしさを追及して。
取組みの様子	できるだけ具体的な報告をお願いいたします。 [日時] ●月●日(●) 10時～12時 [場所] 釧路川河川敷周辺 [参加者数] 会員7名、その家族10名、友人2名 合計19名 [内容や様子など] 会の活動としては、普段は山菜採り、ハイキング、公園に1日出かけるなどの活動がありますが、野外で遊んでいるとゴミなどが気になることがあります。いつもは「またゴミが・・・」など思うだけでしたが、今回は「ゴミ拾いの日」と定めて普段気になっていることを実践してみよう、と始めました。当日は曇りの天候でしたが、雨が降るまでやって見ようと開始しました。気になっていたゴミを拾うことができ気分がよかったです。集ったゴミは30L袋3つ分と、予想以上の集まりでした。もちろん少ないほうが良いことなのですが、実践した甲斐がありました。 集ったゴミは〇〇へ持参すると無料で引き取ってくれるということで、そこへ持ち込みました。 終了後はバーベキューとビールです。活動の目的はいかにおいしくビールを飲むか、ということです。何をするにも「楽しみ」というのは必要だと思います。今回は会員みんなで気分良く、おいしくビールを飲むことが出来ました。
主催者の感想、今後の課題や希望、要望など	取り組んでみての感想をお願いします。 また、難しかった点や困難だった点、今後の活動についての展望や希望、他の方が実践する場合のアドバイスなどあればお書き下さい。 [感想] 天候がもってよかった。 [その他] ボランティアで回収したゴミは無料回収してくれると、今回初めて知った。もっと多くの人を知っていれば、気軽にゴミひろい活動が行われるのでは、と感じた。そういったことをワンダグリンダ事務局がもっと広くお知らせしてくれればありがたいです。 [これから] 年に1度は、お世話になっている自然に恩返しできるようなことを実践していきたいと思います。ゴミ拾い以外の活動も、他にあればやってみたいと考えます。

※画像については、タテ50mm×ヨコ60mm、解像度300dpi/inchの画像、またはモノクロでボリューム200K程度の画像1～2枚を、こちらにレイアウトせずに添付ファイルにて別送ください。

ワンダグリンダ・プロジェクトは以下の3つの柱を基に進めています。
今回ご報告いただく活動が3つのうちどれに当てはまるかマルをつけて下さい。(重複可)

- ① 釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ
- 2 自然再生に参加する、行動する
- 3 地域と関わり、人をつなぐ

ワンダグリーンダプロジェクト 2010

釧路湿原自然再生普及行動計画 2010年度具体的取組み

<報告様式>

団体(個人)名	
団体(自己)PR	団体の概要など。ホームページやブログなどあればご記入ください [ホームページ] http://www.....
取組み概要	
活動の目的・ねらい	
取組みの様子	できるだけ具体的な報告をお願いいたします。 [日時] [場所] [参加者数] [内容や様子など] [やってみての成果など]
主催者の感想、今後の課題や希望、要望など	取り組んでみての感想をお願いします。 また、難しかった点や困難だった点、今後の活動についての展望や希望、他の方が実践する場合のアドバイスなどあればお書き下さい。 [感想] [その他] [これから]

※画像については、タテ50mm×ヨコ60mm、解像度300dpi/inchの画像、またはモノクロでボリューム200K程度の画像1～2枚を、こちらにレイアウトせずに添付ファイルにて別送ください。

ワンダグリーンダ・プロジェクトは以下の3つの柱を基に進めています。
今回ご報告いただく活動が3つのうちどれに当てはまるかマルをつけて下さい。(重複可)

- 1 釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ
- 2 自然再生に参加する、行動する
- 3 地域と関わり、人をつなぐ

「ワンダグリンド・プロジェクト2010」 進捗状況（一覧）

資料 2-3

* 新規参加は、団体・個人名の欄に「★」で表しています。 * 新規追加分はゴシック体文字で表しています。

2010年11月現在

団体名	取組み概要		No
★ アトリエ「アリス」	釧路湿原などの自然を含む釧路地域の素晴らしさを描くことによってアピールする	活動中	1
	釧路に自生する植物を使ったアート作品の製作と発表	活動中	2
	釧路川周辺の清掃活動を実施します		3
伊勢志郎	来訪者の釧路湿原国立公園来園記念に、折鶴を関連施設に提供します	活動中	4
岩間喜美子(自然ガイド)	釧路湿原の中をガイドいたします	未定	5
(株)FMくしろ	釧路湿原の植物や生物、歴史について紹介する「ゆうゆう釧路湿原塾」を放送します	活動中	6
(株)日専連釧路	「日専連釧路フィッシャーマンズカード」利用額の一部を釧路湿原国立公園連絡協議会に寄付します	活動中	7
NPO法人釧路湿原やちの会	釧路湿原道路の清掃活動を実施します	終了	8
	温根内ビジターセンター駐車場の清掃活動を行います	終了	9
	修学旅行・一般観光客(団体・個人)・企業の研修旅行等を受入れます	活動中	10
NPO法人タンチョウ保護研究グループ	タンチョウの保護、研究に関するHPでの情報発信、教育普及活動、タンチョウ総数カウント調査を行います		11
NPO法人トラストサルン釧路	トラスト地におけるボランティア作業の受入れを行います	活動中	12
NPO法人北海道フィッシャーズ協会	ゴミ清掃を中心とした環境保全活動を実施します	活動中	13
Rainbow Angel (ペンネーム)	釧路湿原の魅力をテーマとしたブログ発信をします	活動中	14
お菓子司 二幸	「湿原まんじゅう」を通じて、釧路湿原の成り立ちや歴史について伝えます	活動中	15
小川幸子	湿原をイメージした紙粘土人形の作成	活動中	16
賀勢朗子	北海道の動物折り紙の展示	活動中	17
川口 秀人	湿原の動植物や風景の写真をカレンダーにして職場に展示します	活動中	18
環境コンサルタント株式会社	達古武湖面をカメラで清掃します	終了	19
	湿原流域で体験型環境学習会を開催します		20
環境省釧路自然環境事務所	自然再生事業を行っている達古武地区にて、市民体験調査会を行います	終了	21
	釧路湿原ラムサール条約登録30周年を記念して、流域市町村で自然体験イベントを実施します	活動中	22
喜多島 麻鈴	コンサートを通じて、釧路湿原をPRします	終了	23
★ 釧路ウォーターアートプロジェクト	市民参加型の環境アートで水の大切さを発信します	活動中	24
釧路国際ウェットランドセンター	釧路湿原ラムサール条約指定30周年を記念する「集い」を開催します	予定(12月19日)	25
	湿地保全やワイズユースに関するJICA研修を実施します	活動中	26
	釧路川蛇行復元現場周辺の環境調査を、地域の人々と一緒にを行います	終了	27
	ホームページ、ニュースレター等による釧路湿原の情報発信をします(英語・日本語)	活動中	28
	世界湿地の日(2月2日)記念し、湿地を訪ねる「冬のエコツアー2011」を開催します	予定(1月29日)	29
釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	クリーンワークを実施します	終了	30
	ウチダザリガニ駆除調査を実施します	終了	31
	温根内木道定点解説を実施します	終了	32
釧路湿原国立公園連絡協議会	「釧路湿原子どもレンジャー」事業を実施します	活動中	33
	湿原に関する情報を毎月紙面で発行します	活動中	34
	温根内ビジターセンターと塘路エコミュージアムセンターで行われるプログラムの情報共有と施設間の連携を図ります	活動中	35
	ホームページによる釧路湿原の情報を発信します	活動中	36
釧路湿原全国車いすマラソン大会実行委員会	第25回釧路湿原全国車いすマラソン大会を実施します	終了	37
釧路湿原MTBクラブ	釧路湿原周辺の丘陵地を主なフィールドとして廃道や林道でのツーリングを行います	活動中	38

団体名	取組み概要		No
釧路湿原マラソン実行委員会	第37回釧路湿原マラソン大会の実施	終了	39
釧路シャケの会	シャケの稚魚の里親募集と放流式を実施します	1月下旬～	40
釧路短期大学	湿原をとりまく地域食材を使用した、学生考案の「咲くきッキー」を釧路全日空ホテルと連携して販売し、湿原自然再生に還元します(諸活動と収益の一部寄附)	活動中	41
釧路プリンスホテル	宮島岬を中心に、自然ガイドとともに周辺の自然や歴史を体験・学習するツアーを実施します	活動中	42
釧路ボタニカルアートの会	地元の植物やその周辺の環境を観察し学び、希少な植物の姿を細密画として描き、作品を環境保護活動に役立てます	活動中	43
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部	「くしろ環境スクール」終了生による「釧路自然再生解説員」活動と学習会を行います	活動中	44
	「釧路湿原川レンジャー」を募集し活動を行います	活動中	45
(財)釧路市民文化振興財団	「湿原 ほたる講座」を開催します	終了	46
	いきいき女性講「キラコタン岬から釧路湿原を眺めてみよう」を開催します	終了	47
	「まなぼつと子ども体験隊」で「キラコタン岬に行こう」を開催します	終了	48
	「まなぼつと子ども体験隊」で達古武の森と動物を調べます	終了	49
	釧路学教養講座「釧路地方の自然と歴史③「キラコタン岬」」を開催します	終了	50
★ こどもエコクラブくしろ	釧路湿原におけるマルハナバチの観察調査を実施します	終了	51
(財)日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサントウチュアリ	施設来訪者へのタンチョウの解説・ミニスライドショーを実施します	活動中	52
	タンチョウティーチャーズガイド講習会を実施します	予定(12月2日)	53
	ボランティア作業の受け入れを行います	終了	54
奈良県 笹本由文	私有山林に自然林育成と環境保全を努めます。	活動中	55
沢田建設株式会社	釧路湿原近郊でゴミ拾いを行います	終了	56
	ウチダザリガニ防除活動を行います	終了	57
シルバーシティときわ台ヒルズ	自然再生について学ぶ「自然再生」文化講座を開催します	予定(3月6日)	58
太平洋総合コンサルタント株式会社	体験型の環境教育の実施	予定(11月22～25日)	59
タクブパ(ベンネーム)	道東の自然や地名をアイヌ語で紹介します	活動中	60
ボーイスカウト北海道連盟 釧路第6団カブ隊	自然観察や体験活動などを実施します	終了	61
北海道阿寒高等学校	1学年「地域巡検」として釧路湿原を学びます	終了	62
ボランティアネットワークチャレンジ隊	釧路湿原“音”探検を開催します	未定	63
宮永 真智子	オカリナ演奏で協力します	終了	64
無国籍雑貨 島屋	釧路湿原に生息する希少な生物をモチーフに、アイヌ文様の伝統的パターンを使いデザインしたグッズを作成・販売します(打ち上げの一部は寄付することも検討)	活動中	65
リンク・リング	野生生物へのエサやりの是非の説明をして、人と動物・自然のかかわりについて考える機会を持ってもらいます。	活動中	66
林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター	「雷別ドングリ倶楽部」の実施	活動中	67
	みんなで森林づくり「ボランティアによる植樹」の実施	終了	68
	「森林ボランティア養成講座」の実施	終了	69
	「お庭で苗木育成制度」の実施	活動中	70

43団体・個人／70取組み

(2009年度は42団体・個人／67取組み)

釧路湿原自然再生協議会	釧路湿原自然再生協議会や各委員会の情報を発信します(会議公開、HP、ニュースレター発行)	活動中	1
	学習会や講演会などを行います	活動中	2
	パネル展などを実施します	活動中	3
	視察・研修などを受入れます	活動中	4
	自然再生に関わる資料を発刊します	活動中	5

44団体・個人／75取組み(協議会含む)

「ワンダグリンド・プロジェクト 2011」募集概要(案)

1 募集期間

2011年2月14日(月)～3月14日(月)までの1ヶ月間

※年に1回、期間を決めて募集することで集中的に関心を高め、その後の応募問い合わせについては、時期を問わず、随時受け入れを行うこととする。

2 広報について

チラシ・ポスターの作成(チラシ10000枚、ポスター200枚)

- ・ 公共施設(コミセン、観光施設等)への掲示依頼(市町村役場に協力を依頼)
- ・ 関係市町村発行の広報誌へ掲載依頼
- ・ 各報道機関へお知らせするとともに、広報を依頼(FMくしろ 他)
- ・ ホームページへ掲載

(WG通信、環境省釧路自然環境事務所、関係機関へのリンク依頼を検討)

- ・ 北海道環境財団の情報メールに掲載
- ・ メールニュース『ワンダグリンド☆ニュース』へ掲載
- ・ 学校へ配布(関係市町村教育委員会へ協力を依頼)
- ・ 推進サポーターへの掲示依頼

3 応募方法

折込み用紙又はWG事務局に電話かメールで応募用紙送付を依頼、

もしくはホームページよりダウンロード

→ 記入後、WG事務局に送付(メール、ファックス、郵送のいずれか)

→ WG事務局で内容について応募者に確認(電話、ファックス、メール等)

→ 〆切後、WG・小委員会にて承認後、応募者に「ワンダグリンド・プロジェクト 2011」として公開されることをお知らせ → 2011年5月下旬を目途として公開

4 連絡先

釧路湿原自然再生協議会 再生普及小委員会

再生普及行動計画ワーキンググループ事務局 ワンダグリンド・プロジェクト担当

〒084-0922 釧路市北斗2-2101 釧路湿原野生生物保護センター内

【e-mail】wanda@heco-spc.or.jp 【TEL】0154-56-4646 【FAX】0154-56-2267

5 その他

(1)応募フォーマットは資料3-2参照

(2)「釧路湿原自然再生」の普及に貢献する活動であれば、地域を問わず受け入れることとします。

できるひとができることから。釧路湿原とつながる活動をご応募ください!

団体（個人）名	
取組み内容	
取組み時期 回数など	

団体について、簡単なご紹介をお願いします。
(ホームページでの団体紹介に使わせていただきます)

ご要望、ご相談などございましたらご記入ください。
(協力要請、当事務局に期待している点など)

ワンダグリンド・プロジェクトは3つの柱を基に進めています。
今回ご応募いただく活動がどれにあてはまるか マルをつけて下さい。

- 1 釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ
- 2 自然再生に参加する、行動する
- 3 地域と関わり、人をつなぐ

ご担当者	
ご住所	〒
TEL&FAX	
E-mail	※ご連絡のほか、メールニュース「ワンダグリンド☆ニュース」をお送りします。
URL	※当ホームページからリンクさせていただきます。

- 2011年度内の活動をご応募ください（長期間の活動もOK）
- 個人、団体、企業、行政、サークルなど、どんな形でもご応募できます。
- 活動は随時募集しています。
ただし、**2011年3月14日**までにご応募いただいた活動は、各種広報誌やホームページなどを通じて広くPRいたします。 ※2011年5月中旬ごろ、ワンダグリンド・プロジェクト2011として公開いたします。
- ご不明な点は、お気軽に事務局までお問合せください。

現在の情報発信(一覧)

資料4

ホームページ	自然再生協議会 有●(アクセス数 05年 208,600、09年 28,259)	森林再生小委員会 有●	旧川復元小委員会 有●	水循環小委員会 有●	土砂流入小委員会 有●	遼原再生小委員会 有●	再生普及小委員会(全WGを含む) 有● 再生普及行動計画ワーキンググループ通信 ○● きづくわかかるまもる銆路湿原 ○△ ブログ「森林再生の今！」●(アクセス数 341)
印刷・発行物	ニューズレター● (vol.14まで年1回発行) 全体構想(全文、パンフレット、英語版パンフレット)	ニューズレター● (vol.9まで年1回発行) 達古武地区実施計画(全文、パンフレット、リーフレット)	ニューズレター● (vol.11まで年1回発行) 旧川復元事業実施計画(全文、パンフレット)	ニューズレター● (vol.8まで年1回程度発行)	ニューズレター● (vol.11まで年1回程度発行) 土砂流入対策(沈砂池)実施計画 土砂流入対策実施計画[久著呂川]	ニューズレター● (vol.5まで近年年1回程度発行)	ニューズレター●(vol.14まで年2回発行) 第2期再生普及行動計画(全文、パンフレット) 銆路川カヌー利用ガイドマップ○ 銆路湿原ガイドマップ&ブック○● ワンダグリンダ・プロジェクト報告書○●△(1200部発行) ワンダグリンダ・プロジェクト募集中ラシム(8000枚) ワンダグリンダ・プロジェクト募集ポスター△(150枚) きづくわかかるまもる銆路湿原～学校と地域をつなぐ環境教育ガイド～○●△(3000部発行)
配布について	イベント時 視察・研修等受け入れ時	イベント時 視察・研修等受け入れ時	イベント時 視察・研修等受け入れ時	イベント時 視察・研修等受け入れ時	イベント時 視察・研修等受け入れ時	イベント時 視察・研修等受け入れ時	イベント時 視察・研修等受け入れ時 ワンダグリンダ推進サポーター●△(34ヶ所) 公共施設(74施設) 学校関係(約100校)
報道機関等への発信	協議会開催時 協議会構成員募集時 シンポジウム開催時	委員会開催時 その他随時	委員会開催時	委員会開催時	委員会開催時	委員会開催時	委員会開催時 メールニュース定期配信○●(毎月2回、2006年～) 関係市町村広報(掲載の可否は先方に委ねる)○(毎月1回、2008年～)
普及啓発用資材	自然再生紹介パネル○● 空撮写真○(展示4回)						ミニチュア湿原○(展示3回)
主催イベント	自然再生シンポジウム○● (年1回、参加者約200人/回)	雷別地区(公募、限定)●(年10回、参加者約10~15人/回) 達古武地区(公募)●(年2回、参加者約10~15人/回)					年2回(限定)○●△(参加者約10人/回) パネル展○●△(年1回、来場者100~300人/回)
参加イベント							年4回○●△

○:銆路湿原を知る、楽しむ、学ぶ
●:自然再生に参加する、行動する
△:地域と関わり、人をつなぐ

環境教育ワーキンググループの今年度の活動について

1 情報の収集と提供

教育委員会、湿原周辺施設等において学校対応状況に関する情報を収集し、学校における湿原を題材とする実践事例について、概要のとりまとめを行っている。なお、とりまとめた情報は、HP へ掲載する。

2 湿原を題材とした学習と教科学習との関連性の整理

教育行政、湿原を題材とする学習の実践校等へのヒアリング、学習指導要領および教科書各単元の検討を行い、教科学習と学習素材としての湿原の関連（可能）性について整理を進めている。

3 教員研修の実施

釧路教育研究センターと連携し、釧路湿原に対する新たな視点・気づきを教員と共有し、湿原の教育的な価値を捉えなおすことを目的とする教員研修を2回の講座として実施した。

(1) 第1回 研修講座

- ・実施日時：2010年7月1日（木）9時30分集合 16時解散
- ・参加教員：釧路市内の小学校、中学校教員6名
- ・実施内容：自然再生事業実施現場の見学（久著呂地区湿原再生事業地）
釧路湿原野生生物保護センターにおける座学（釧路湿原の変遷、価値）
教科学習と湿原との関連性についてのワークショップ
- ・講師：新庄久志氏（釧路国際ウェットランドセンター主任技術委員）
- ・主催：環境教育ワーキンググループ

(2) 第2回 研修講座

- ・実施日時：2010年9月9日（木）10時集合 16時解散
- ・参加教員：釧路市内および標茶町内の小学校、中学校教員7名
- ・実施内容：自然再生事業実施現場における調査体験（達古武地区湿原再生事業地）
（野ネズミ・地表性昆虫・魚類・水生昆虫調査、シードトラップ設置等）
- ・企画・案内：さっぽろ自然調査館
- ・主催：環境省自然環境事務所、環境教育ワーキンググループ

※2講座ともに釧路教育研究センター共催（同センターの教員研修講座）にて実施。

(3) アンケート回収結果 (いくつかを抜粋)

●湿原の教育的な価値をどのように考えるか

- ・身近なところに、様々な要素（教科にしても、環境学習にしても）を持っているものがあるということ。釧路市内からも近い。
- ・地域の一員として、湿原を実感すること。
- ・いろいろな角度から取り上げられると思う。
- ・子供達の身近にあること。どの教科からでも材として考えることができること。
- ・子供達が、釧路に誇りを持っている大人に育ってくれる一因。
- ・いろいろな教科に価値が広がっている点。

●感想・意見

- ・気軽な気持ちで参加しましたが、予想以上に得るものが多く（環境問題、湿原が破壊されているのを再生しようとしている、いろんな教科に生かせるなど）、充実した時を過ごせた。
- ・今日は、今まで知らなかったことをたくさん知ることができた。施設の中もゆっくり見ることができて良かった。
- ・とても勉強になりました。イメージをひろげていく活動で、自分では思いつかなかったキーワードを聞けて、視野が広がったように思う。湿原の教育は湿原に行かなくてもできる、という言葉が心に残った。
- ・非常に収穫の多い研修であった。
- ・専門的なことでしたが、とても楽しく学習することができた。また、このような機会に恵まれましたら、参加してみたいと思う。
- ・実際に見てまわれたので、とても楽しく研修に臨むことができた。出来れば学校で生徒に伝えていきたいので、今日見せて頂いた資料などを使わせて頂いたり出来ると、とても有難い。
- ・大変楽しかった。子ども達にも時間をたっぷりとったなかで、このような体験をさせてあげたい。木を種から育て、自然再生に取り組んでいることに深い感銘を受けた。
- ・本や話などで聞いているのではなく、実際に目にし体験できて、とても楽しかった。
- ・「自然再生」というと、最先端の華々しさを感じるが、実際は極めて地味で気長な研究の延長上にあって、試行錯誤の取組段階にあるのだということがわかった。学校の授業での活用となると、まだまだハードルも高いが、「環境を考える」には最適だと思う。講師はお願いしたい。

再生普及小委員会の予定(案)

資料6

2010年 5月28日	第15回再生普及小委員会 開催 ・再生普及行動計画WG経過報告について ・環境教育WG経過報告について		
6月	ワンダグリンド・プロジェクト2010公開	随時	ヒアリング実施
6月5～6日	エコ・フェアくしろ2010(主催:実行委員会)参加 ワンダグリンド・プロジェクト2009報告書配布開始		
7月～10月	広報しべちや、広報釧路町にて「知ってる?! 釧路湿原」連載	7月1日	第1回教員研修
7月23～26日	釧路湿原自然再生パネル展(会場:イトーヨーカドー釧路店)開催		
8月29日	第5回フィールドワークショップ開催		
9月	ブログ「森林再生の今!」スタート		
9月5～6日	ワンダグリンド・プロジェクト知名度調査アンケート 実施	9月9日	第2回教員研修
9月12日	標茶町産業まつり 参加		
9月23日	環がまち釧路フェスタ 参加		
10月	第2期再生普及行動計画概要版パンフレット完成・配布開始		
11月6～7日	まなトピア(主催:釧路市生涯学習センター)参加		
11月19日	第19回再生普及行動計画WG 開催		
11月30日	第16回再生普及小委員会 開催 ・再生普及行動計画WG経過報告について ・環境教育WG経過報告について		
12月(予定)	第16回釧路湿原自然再生協議会		
12月中旬	「ワンダグリンド・プロジェクト2011」募集チラシ・ポスター作成		
2011年 1月中旬	募集チラシ・ポスター完成。配布開始 「ワンダグリンド・プロジェクト2010」活動報告依頼開始	1月下旬	第7回環境教育WG 開催
2月6日	第6回フィールドワークショップ 開催		
2月14日～ 3月14日	「ワンダグリンド・プロジェクト2011」募集スタート		
4月中旬	第20回再生普及行動計画WG 開催	4月下旬	第8回環境教育WG 開催
5月中旬	第17回再生普及小委員会 開催		